

# 不撓不屈

京都府立洛北高校硬式野球部  
部活動通信：第16号  
発行：MG 今村・西山・吉田  
2020年10月1日

## 野球部 topic 1

### 「秋季大会 開幕！」

秋季京都府大会一次戦が開幕しました。

この大会に照準を合わせて取り組んできたこともあり、初戦の農芸戦は良い緊張感の中で試合を迎えることができました。起承転結を意識して挑み、「起」の部分である1.2.3回で得点し、主導権を握ることができました。

そこからはほとんどの回で得点を重ねるなど流れに乗り、

9-0で勝利を収めることができました。またピッチャーの白石が好投し、守りの面でも無失策などと次戦に繋がる試合となりました。



## 野球部 topic 2

### 「悔しさを糧に！ 強く！」

9月12日に東稜高校と二次戦進出をかけた試合が行われました。

相手が自分たちより強くても「最後まで自分たちらしい野球をしよう」と臨んだこの試合、初回から主導権を握ることを意識して積極的に攻撃することが出来ました。表を0点に抑えた後、1アウトランナー1塁から3番奥山の右越ツーランホームランにより2点先制しました。その後も点を返される度に取り返し、粘り強い攻撃を繰り返しました。5回には4番蛸原の中越ソロホームランも出ました。3.4番そして主将、副主将としての意地を見せてくれました。しかし9回表、守備の崩れから負の連鎖が続き4点を追加され、逆転を許してしまいました。10-8で迎えた9回裏、そのまま点を返すことができず秋季大会は幕を閉じました。新チーム始動後一番の接戦でしたが、最後は自分たちの野球が思うように出来ず、悔いが残る結果となりました。

洛北高校は、普通の野球部とは少し違い秋の大会に照準を合わせて取り組んでいます。この秋、どこのチームよりも熱い思いを持ってこの一ヶ月お互いに厳しい言葉も出る中で試行錯誤

しながら過ごしてきたからこそ、チームとして本当に大きく成長しました。まだまだ課題点がありますが、この悔しさがチームの大きな糧になることは間違いありません。ここから次の公式戦までの期間でどこまでチームとして、個人として強くなれるか本当に楽しみです。

応援ありがとうございました！引き続き宜しくお願いします。



## 野球部 topic 3

### 「4つの声で強く！」

新体制後の選手ミーティングの中で、強みとしてベンチの雰囲気や声援が挙げられ、練習でもひとりひとりがチームを鼓舞し合いながら取り組んでいます。

しかし、その中で声は出ていても重要な声や声援が欠けていることが課題にあり、「4つの声」を意識して取り組まなければいけないとチームで共有しました。「4つの声」とは「準備・反応・指示・評価」の声であり、これまでは圧倒的に評価の声が多く、ゲームの中で必要不可欠な残りの3つの声や声援が欠けてしまう場面が多く見られました。現在は練習から一球一球に対して全員が「4つの声」を意識して取り組んでいます。チームの誰かに任せるとはせず、自分の声や声援でチームを動かしていくつもりでこれからも継続していきましょう！

## 野球部 topic 4

### 「必勝！サッカー部！」

10月18日(日)にサッカー部が選手権大会京都府予選の初戦を迎えます。普段、朝練習などで一緒にトレーニングメニューを行ったり、野球部の大会前は、快くグラウンドを優先的に使用させていただいております。

洛北の赤き戦士達の健闘を祈ります！

全力で応援させていただきます！！

朝練習の様子 →

